

会 議 録

会議の名称	第1回東和地域学校再編準備委員会	
開催日時	令和元年 10月30日(水)	
	午後 7時 00分 開会	
	午後 8時 20分 閉会	
開催場所	東和総合支所 3階委員会室	
委員出席者	鈴木 和美 委員	東和中学校PTA会長
	小口 信行 委員	米谷小学校PTA会長
	村田 裕仁 委員	錦織小学校PTA会長
	菅原 かおり 委員	米川小学校PTA会長
	熊谷 久夫 委員	東和中学校学校運営協議会長
	森本 欣八郎 委員	錦織小学校学校運営協議会長
	菅原 輝雄 委員	米川小学校学校運営協議会副会長
	秋葉 茂雄 委員	米谷地域づくり推進協議会長
	岩渕 俊文 委員	錦織地域振興会長
	佐藤 裕孝 委員	米川地域振興会長
	伊藤 真由美 委員	米谷こども園保護者会長
	猪股 英明 委員	錦織保育園父母の会副会長
	佐藤 貴弘 委員	米川聖マリア保育園父母の会会長
事務局出席者	高橋 富男	教育長
	小林 和仁	学校再編推進室長
	岩渕 裕喜	学校再編推進室学校再編推進係長
	菅野 雅	学校再編推進室主事
	佐藤 鷹彦	学校再編推進室主事
欠席者	舟嶋 茂昭 委員	米谷小学校学校運営協議会長
傍聴者	2名	
議事	(1) 学校再編の方針について (2) 学校再編準備委員会の概要について (3) 会議の運営について (4) その他	
挨拶 議事	事務局	開会 午後7時00分
	教育長	開会挨拶
	委嘱状交付	委員へ委嘱状を交付
	委員長・副委員長選任	事務局案により委員長は鈴木和美委員、副委員長は熊谷久夫委員に決定
	委員長	議事(1) 学校再編の方針について事務局へ説明を求める。
	事務局	(資料に基づき学校再編の方針について説明。)
	委員長	事務局の説明に対して確認したいことはあるか。
委員	校舎等の有効活用とあるが小学校の校舎に限った話なのか。他の施設も	

	含めて検討するといった考えはないのか。
事務局	小学校を基本に考えているが、場合によっては例えば併設の様な形で中学校の校舎を活用することも考えられる。そういった部分も含めて本委員会の中で検討していきたい。
委員	地域の方が集まる他の話し合いでは、特別教室等の改修費用がかかるのではないかという思いもあるが、交通の便を考えると中心地にある中学校に併設という形がよいのではないかという意見が出ている。
事務局	予算との兼ね合いもあるので現段階では明確な回答はできないが、そういった部分も踏まえて活用の可能性について検討を進めていきたいと考えている。
委員	東和中学校の建築年、経過年数を教えて頂きたい。
事務局	中学校は昭和51年に建築なので43年ほど経過している。
委員	大規模改修は行っているのか。
事務局	平成9年に大規模改修を行っている。
委員	全ての学校を併せても学級編制基準に照らすと2学級に満たない学年があるが、その場合でも2学級編制にして頂けるのかそれとも単学級のまなのか。
事務局	2学級編制を目指して再編を行うものの単学級となる学年もある。
委員	人数が少ない場合でも2学級編制とし、クラス替えができるようにするといった考えはないのか。以前に学級編制人数については決まっているという話を聞いたことがあるが確認したい。
事務局	学級編制の人数については基準で決まっており、難しい部分もある。複数学級にならなくても、子供達が多様な考え方に触れられるように再編による環境整備が必要と考えている。複数学級とならない場合は魅力的な小規模校の在り方を検討する。
委員	子供達のためになる様な方向で進めていただければと思う。
委員	この会議で話し合いの内容について県やその他の機関から指導を貰うことはあるのか。それともこの委員会のみで決めていくのか。
事務局	この委員会としては要綱上必要に応じて委員以外の方に意見を聞くことができる。また全体の進め方という点では事務局で学識経験者に助言を求めながら進めている。
教育長	複数学級が理想だが、地域によっては複数学級にならない所もあるが、

	<p>町域を越えた再編となると通学の負担が大きいため町域に1校は小学校を配置するという考えをとっている。定数については国の基準で小学校1年生が、県の基準で小学校2年生と中学校1年生が35人学級となっている。現在、県の教育長部会や議会で県と文部科学省へ35人学級の拡充を要望しているところである。そういった状況なのでこの場で定数について具体的な回答をすることはできない。本委員会については色々な意見を出し合って進めて頂きたいと考えている。</p>
委員	<p>本委員会での決定事項がどの程度今後の施策について活かされるのか、本委員会の性格について確認したい。</p>
事務局	<p>本委員会では、地域ごとの実施計画を作るための委員会として統合の実施、統合校の位置、それに付随する通学支援等について検討していただき、集まっている委員の皆さんの団体の意見をまとめていただくこととなる。ただ、最終的な決定及び計画の策定は教育委員会が行う。方向性を出すのは大変な作業となるが、最終的な決定、責任は教育委員会になるのでその点を踏まえて、ご意見をいただければと思う。</p>
教育長	<p>本委員会を出した方向性が大変重要である。様々な意見を出して方向性を検討していただきたいと思っている。</p>
委員	<p>委員会に出席するにあたってPTAの役員でアンケート調査を行った。7名ほどに調査を行い賛成が3名、反対が1名、分からないが2名、回収できなかった方が1名であった。活用する校舎については米谷小学校が4名、通学できる範囲ならどこでもよいが1名、中学校の校舎が1名であった。統合により期待することは何かという質問に関しては競争心が生まれる、授業内容の充実等があった。また要望として事前に3校での交流会を行ってほしい、通学支援を充実してほしい、子供達の心のケアを行ってほしい等の回答があった。こういった意見をこの委員会で検討していければと思う。アンケートについては先行して委員会を行っている米山、津山地域でも行っている様なので参考にしたい。</p>
事務局	<p>アンケート調査については後程情報提供する。</p>
委員長	<p>他に質問はあるか。無ければ議事(1)学校再編の方針については了解を得たものとする。</p>
委員長	<p>議事(2)学校再編準備委員会の概要について事務局へ説明を求める。</p>
事務局	<p>(資料に基づき学校再編準備委員会の概要について説明)</p>
委員長	<p>事務局の説明に対して確認したいことはあるか。</p> <p>(無しとの声あり)</p>
委員長	<p>では、議事(2)学校再編準備委員会の概要について了解を得たものとする。</p>

委員長	議事（３）会議の運営について事務局へ説明を求める。
事務局	（資料に基づき会議の運営について説明）
委員	次回に統合の実施について判断するという内容になっているが、本委員会の中で反対の色が濃い場合でも統合を進めるのか。
事務局	皆さんの意見を聞きながらでなければ、統合は進められないと考えている。また、教育委員会では統合に向けて前向きに話し合いを進めてよいかという部分を確認するために差し当たり次回に委員の意向を確認できればと考えているが、先行している他の町域では委員の意見だけでなく構成員の意見も確認したいと話があり、先ほど話にも出たアンケート調査を行っている。アンケート調査では統合の賛否や統合校として活用する校舎や統合する上での配慮事項等に関する設問を置いている。もしアンケートを行いたいということであれば、次回にアンケート案を提示するので、それを叩き台に内容について協議できればと思う。
委員長	皆さんいかがか。 （構わない旨の発言あり）
事務局	それでは次回会議にてアンケート案を提示する。引き続き他町域のアンケートの実施方法について説明させていただく。アンケート調査は保護者を主な実施主体とし、取りまとめも各自行っている。学校を通じたやり取りができるためそういった形となっているが他の団体についてもアンケート調査を行うことであれば対応可能である。ただ保護者の方が実施する場合の様に学校を通じて配布するといった術が教育委員会に無い為、PTA以外の団体がアンケート調査を行うということであれば、配布方法、回収方法も含めて検討していただく必要がある。また教育委員会でアンケート票の作成を行うものの、集計作業については各団体で行っていただくこととなる。自由記載欄についてはまとめるとなると大変なので教育委員会で協力し、資料としてまとめている。また、アンケート調査については何度も行えるものではないため設問についても聞きたい内容を反映させた形で出したい。次回会議で提示するアンケート調査票の案を基に実施方法や設問の内容を協議いただきたい。
事務局	事務局側では先ほど案として示したとおり、6回の会議で結論を出したいと考えているが、アンケート等で色々な意見が集約されてくると、中々会議予定のとおりに進まないこともあると思う。その場合は回数に拘らず議論を尽くした上で方向性を出していただきたい。
委員長	アンケートは保護者が主な対象となっているようだが他の団体ではどの様にするかも含め委員の皆さんから意見をいただきたい。
委員	地域住民への配布物については、自治会長を通す場合と行政区長を通す場合と様々ある。今回、コミュニティ組織を代表して委員となっているので全戸に配布するとすれば自治会長を通すことになる。

事務局	<p>P T A以外の団体については委員から話のあったとおり配布方法もだが、例えばコミュニティ組織であれば全戸にするのか、理事の方にするのか、自治会長までにするか等、アンケート調査の対象範囲も含めて検討していただく必要がある。</p>
副委員長	<p>アンケート調査については、どの段階で行うのか、対象範囲、内容について熟慮した上で行わないと無駄な作業に終わってしまう可能性もあるし、委員会としての今後の意見集約にも影響が出てくるのではないかと。そういった事を踏まえてこの場で意見を交わしておきたい。</p>
事務局	<p>他の地域の例をご紹介すると、今ご意見をいただいた部分に課題があるため、保護者を主な対象として捉えたアンケート調査になっている。ただ、保護者以外でも学校に協力をいただきながら学校運営協議会で調査を行った地域もある。また、地域住民についてはやはり全ての意見集約は難しいということで、何か意見があれば行政区長を通して委員の方に意見を伝えるという手法を取っているところもある。</p>
事務局	<p>今回の会議で実施の可否、手法について結論を出すというのは難しいと思うので、次回までに検討していただき、次回会議で実施の有無も含めて皆さんに確認するという形ではいかがか。</p>
委員	<p>次回の議題に含めるということか。</p>
事務局	<p>P T Aの代表した委員の皆さんについてはアンケートを行いたいという意向があるということであれば、保護者の方々を想定した依頼文やアンケート調査票の案を次回提示しそれに対する意見をいただきながら、アンケート調査の実施について議事の中で各団体の意向も確認するという形を取りたい。</p>
委員	<p>P T Aという話だがせっかくだから未就学児の保護者についても調査した方がよいと思う。</p>
事務局	<p>未就学児の保護者については小中学校のP T Aに準じた形で施設の方に協力をいただきながら実施するという事は可能だと思う。</p>
委員	<p>学校再編についてはではないが、コミュニティ組織ではこれまで全戸配布でアンケート調査を行ったことがある。ただ、回収率が2割に満たないという現状である。訪問して集めてもそういった状況なので、アンケート調査で意見集約というのは難しい印象がある。</p>
委員	<p>そういった部分も含めて次回検討するという事で良いのではないかと。また、このアンケートについては学校再編準備委員会として行うということは、統合の実施に向けた取り組みということでのよいのか。例えば否定的な意見が多い場合はどうするのか等、アンケートの扱いをどうするのかも考えなければならない。</p>
委員	<p>委員会として保護者や地域住民の理解を得るために進めるとか、そうい</p>

		った方向性があると動きやすい。教育委員会ではどの様に考えているのか。
事務局		アンケート調査を行うと、賛成でも不安に思っていることや反対する理由なども意見として集約されてくると思う。その中でどういった方向性に進めばその不安を取り除けるのかといった部分を事務局と委員の皆さんを通じたやり取りの中で検討を行っていきたいと考えている。
委員		集計作業は委員が行うのか。
事務局		他の地域では選択式の部分の数の集計については委員の皆さんにお願いしている。自由記載欄や集計結果をまとめ資料としての体裁を整えるとといった部分は事務局が協力しているそういった部分も含めて次回検討していきたい。
事務局		あくまで教育委員会が行う調査ではなく、委員の皆さんが各団体の意見集約の一環として行うという位置づけになるので、その点についてはご理解いただきたい。
委員		他の団体も含めて取りまとめた結果を自分の団体の構成員に知らせるのは構わないか。
事務局		教育委員会としては、アンケート結果は学校再編準備委員会として取りまとめた結果なので委員の了承があれば活用していただくのは構わない。また、市のホームページに掲載して周知するといった様な部分についても委員の皆さんの意見を聞きながら進めていく。
委員長		それでは次回会議については事務局よりアンケート調査票の案を提示してもらい、実施も含めて協議することとしたい。
事務局		アンケート調査についてはその様に進めたい。会議の運営について、月1回程度の開催とし、意見集約に時間がかかるといった意見をいただいた際には開催間隔を柔軟に調整する考えでいる。そういった考え方で構わないか。
委員		アンケート結果を受けて集まりたいといった場合に臨時的な会議持つ等も可能か。
事務局		そういった会議の開催間隔について対応したいと考えている。また先ほど全6回の会議を予定していると説明したが、その回数に囚われずに議題を何か追加したい、話し合いを継続したいといった部分も柔軟に対応する。
事務局		そういった考え方で当面月1回程度開催ということによろしいか。 (構わない旨の発言有り)

委員長	<p>それでは議事（３）会議の運営については了解を得たものとする。議事（４）その他について事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>次回会議日程についてご相談したい。事務局としては１１月の第３週頃を想定している。</p>
委員	<p>第３週だと学校行事等の兼ね合いで難しい。</p>
委員	<p>１１月２５日ではどうか。</p> <p>（構わない旨の発言あり）</p>
事務局	<p>それでは次回会議については１１月２５日に行う。また会議資料については１週間前を目安に送付することとしたいがよろしいか。</p> <p>（よろしい旨の発言あり）</p>
委員長	<p>以上で本日の会議を終了する。</p> <p>閉会 午後８時２０分</p>